

武蔵野市 Sports for All 情報 Monthly News (2018年7月)

今月の一押し

東京2020大会等に向けた武蔵野市実行委員会第二回総会開催 市内80団体で、取組みを進めています

5月29日(火)、今年度の実行委員会総会を開催しました。昨年5月に設立された「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に向けた武蔵野市実行委員会」では、この1年間で、4つの分科会を立ち上げ、各分野での取組み内容を検討してきました。

総会議事の後には、武蔵野市出身のアートディレクターである榎本了壺氏による、特別講演「TOKYO2020 オリンピック・パラリンピック 芸術文化プログラム」があり、文化プログラムとして武蔵野市で何ができるのかを考えるヒントをいただきました。

今年度は、分科会活動を中心として、市民の皆さまと一緒に様々な取組みを実施していきます。是非ご注目下さい。

参加いただいた実行委員会委員の皆さま、活動を報告いただいた分科会委員の皆さま、講演いただいた榎本了壺さま、ご協力ありがとうございました。



第二回総会の様子



特別講演の榎本了壺氏。国内外を問わず、文化プログラムの事例を多数ご紹介いただきました。

ラグビーワールドカップ2019™ の公認キャンプ地相手国が ロシアに変更となりました

6月12日(火)に公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会は、武蔵野市の公認チームキャンプ地相手国を、ロシアに変更すると発表しました。

これにより、当初予定していたルーマニアにかわり、ロシアの代表チームが本市でトレーニングキャンプを行うこととなります。

本市とロシアとの間には、平成4(1992)年にハバロフスク市と締結した青少年相互交流協定があり、長年にわたる交流の歴史があります。

ラグビーワールドカップ2019に向けて、ロシア代表のラグビーチームの支援を行うとともに、市民との交流の機会を創出していきます。



ロシアのハバロフスク市との連携事業の様子

エルサルバドルのパラアスリートが、この夏武蔵野市で強化合宿を行います

中米にエルサルバドルという小さな国があります。内戦や大地震、治安の悪化など、度重なる受難を乗り越えて、力強く笑顔で生きているエルサルバドルの人たちに、日本からは青年海外協力隊をはじめとした支援が行われてきました。

青年海外協力隊員の有志等により、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて同国のパラアスリートを支援しようという活動が行われています。同国への青年海外協力隊派遣開始50周年を迎えた今年の夏に、関係機関の協力のもと陸上・卓球・ボッチャのパラアスリートとコーチを招待し、東京での強化合宿が実施されます。

同国に派遣された青年海外協力隊員の一人が当市の職員であることが縁となり、今年度、市内でも強化合宿が行われます。

エルサルバドルのパラアスリート達は今年9月1日(土)開催の「Sports for All パラ・フェスタ」にゲストとして参加します。

是非エルサルバドルのパラアスリート達と一緒にパラ競技を体験してください。皆さまのご来場をお待ちしております。



エルサルバドル共和国大使館 特命全権大使マルタ・リディア・セラヤンディア・シスネロス閣下と松下玲子市長



来日予定のエルサルバドルのパラアスリート達

「武蔵野市 Sports for All 情報 Monthly News」では、月に一回、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等に関する情報、市の関連イベントなどをお知らせします。

さらにタイムリーな情報については、以下のfacebookページをご覧ください。

facebookページ「武蔵野市Sports for All情報」 <https://www.facebook.com/musashinoolypara/>



第一小学校のパラリンピック競技体験の様子をご紹介します

5月31日(木)に第一小学校でシッティングバレーボールの体験学習を行いました。講師は、シッティングバレーボール女子日本代表の真野監督及び現役の日本代表選手たちです。シッティングバレーボールをはじめて見る子どもたちは、最初のうちは緊張していたものの、真野監督の分かりやすく面白い話により、徐々に緊張もほぐれていきました。

真野監督、日本代表選手をはじめ、授業支援にご協力いただいた一般社団法人日本パラバレーボール協会の皆さま、ありがとうございました。

義足の選手を見て、はじめは驚いていた子どもたちも、素早い動きや迫力あるプレーを目の前で見ることで、パラアスリートがいかに努力を積み重ねてきたか、ということを理解したようです。子どもたちは、選手と一緒にパスの練習をしたり、クラス対抗の試合をするなど大いに盛り上がりました。

真野監督からは、「ぜひ2020年のパラリンピックの会場に足を運んでもらい、選手に声をかけてほしい」というメッセージをいただきました。市では、引き続き市立の小・中学校を対象に、パラリンピック競技の体験学習を支援していきます。



授業支援の様子。
シッティングバレーボールは
床に座ってプレーします。

市からの情報

武蔵野市スポーツボランティア “HANDS” メンバー募集 ～ Hearty Assistant Network for Doing Sports ～

武蔵野市では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、誰もがスポーツに親しむ環境づくりを目指して、障害者スポーツを含めたスポーツを支える「スポーツボランティア」を組織いたします。スポーツには「する」、「みる」を楽しむだけでなく、「ささえる」楽しみがあります。武蔵野市で開催する、スポーツイベントや競技大会などを一緒に盛り上げ、支える喜びを共有できる仲間を募集します。

- 登録期間: 平成30年6月～平成31年3月(年度ごとの更新となります)
- 募集対象: 市内在住・在勤・在学の高校生以上(市外の方で興味のある方はご相談ください)
- 活動場所: 武蔵野市内(武蔵野総合体育館ほか)
- 活動内容: 武蔵野市が開催するスポーツイベント、または市内で行われるスポーツ大会の運営サポートなど
詳細は市ホームページ http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/sports/olympic_etc/1019583.html をご参照ください。
- 申込方法: 企画調整課オリンピック・パラリンピック担当のEメールアドレス SEC-OLYPARA@city.musashino.lg.jp に
件名を【スポーツボランティア登録】とし、本文に氏名・年齢・住所・連絡先・所属を記載して送信すれば登録完了。

※この取組みは、東京2020大会等武蔵野市実行委員会ボランティア・市民活動・広報分科会によるものです。
武蔵野市との共催事業となります。

武蔵野アール・ブリュット2018

- 日程: 7月20日(金)～7月23日(月)
 - 会場: 武蔵野市立吉祥寺美術館(武蔵野市吉祥寺本町1-8-16)、ギャラリーケイ(武蔵野市吉祥寺2-4-14吉祥寺第一ホテル1階)
 - 時間: 武蔵野市立吉祥寺美術館 午前10時～午後7時30分、ギャラリーケイ 正午～午後6時
- アール・ブリュットとは、「生(き)の芸術」と表され、既成の表現法にとらわれずに独自の手法と発想で制作された美術作品のことです。武蔵野アール・ブリュットは、市民協働によって作り上げるアート展で、武蔵野市に関わりのある人たちが、出品・参加しています。今回は、9人の作者による作品を展示します。ぜひお越しください。

当市ゆかりの選手情報

●横河武蔵野Artemi-Stars(アルテミ・スターズ) (女子ラグビー)

6月2日(土)、3日(日)に岐阜県恵那市で開催された「Regional Women's Sevens 2018 関西大会」において、見事準優勝を果たし、11月に開催される「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2018」入替戦への出場権を獲得しました。今後の活躍に注目しましょう。

●松田美咲選手(テニス)【市在学】

5月21日(月)～27日(日)に昭和の森テニスセンターで行われた「第92回関東オープンテニス選手権大会」で、亜細亜大学2年生の松田選手が女子シングルスで優勝しました。プロも出場するこの大会でのシングルス優勝は、現役学生としては亜細亜大学史上初の快挙とのことです。今回の優勝により、10月に行われる全日本テニス選手権大会の出場権を獲得しました。

【問合せ】武蔵野市総合政策部企画調整課(オリンピック・パラリンピック担当) 宮本・谷藤
〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 電話番号 0422-60-1970(直通)FAX 0422-51-5638
メールアドレス SEC-OLYPARA@city.musashino.lg.jp

※「武蔵野市 Sports for All 情報 Monthly News」を設置・配布していただける施設・店舗・団体を募集しています。ご協力いただける方は、送付先・必要部数などをご連絡ください。